

む こ がわ
武庫川流域総合治水推進計画
流域対策実施計画（案）

（平成23年度～平成27年度）

平成24年2月

武庫川流域総合治水推進協議会

武庫川流域総合治水推進計画

流域対策実施計画（案）

（平成 23 年度～平成 27 年度）

目 次

1 目 的	1
2 流域対策の実施計画	2
2.1 計画対象期間	
2.2 目標貯留量	
3 計画の見直し	3
参考：流域対策の報告様式	4

1 目的

平成 22 年 11 月に策定した「武庫川流域総合治水推進計画」では、流域対策による流出抑制量 30m³/s を確保するため、目標貯留量を定めている。

これを達成するため、下記の長期スケジュールに基づき、今後 5 年間の具体的な実施計画を定めるものである。

表 1 流域対策（学校・公園、ため池）の長期スケジュール

流域対策の実施内容		流域対策推進の基本的な考え方	前半		後半	
			H23～H27 (今回)	H28～H32	H33～H37	H38～H42
学校・公園 貯留	整備(県)	流域市に先行して整備を行い、本格実施につなげていく。	県立施設で先行整備		本格実施	
	整備(市)	県の先行整備の成果を踏まえ、モデル箇所ですべて試行を行い、本格実施につなげていく。		モデル箇所ですべて試行	本格実施	
	費用負担検討	県の先行整備と並行して検討を進め、市がモデル箇所ですべて試行を行うまでに合意を目指す。	学校・公園貯留専門部会で検討			
	管理分担検討等	県の先行実施や市のモデル箇所での試行の結果を踏まえ、それぞれの管理マニュアルを策定する。	県・管理マニュアルの策定	市・管理マニュアルの策定		
ため池 貯留	整備(県)	モデル箇所ですべて試行を行い、本格実施につなげていく。	モデル箇所ですべて試行		本格実施	
	事業主体・費用負担検討等	モデル箇所での試行と並行して検討を進め、本格実施までに合意を目指す。	ため池貯留専門部会で検討			
実施計画策定		5年毎に策定する。	策定	策定	策定	策定

施策の進捗状況等を踏まえながら、適宜スケジュールの前倒しを検討する

2 流域対策の実施計画

2.1 計画対象期間

計画の対象期間は、平成 23 年度から平成 27 年度の 5 年間とする。

(平成 21 年度より先行して実施している施設も含む。)

2.2 目標貯留量

計画対象期間において、表 2 のとおり目標貯留量を定め、貯留施設の着手 及び完成を目指す。

表 2 目標貯留量

事業主体	種別 ¹	貯留量 (箇所数)	
		着手 ²	左記の内 完成
兵庫県	学校・公園	約 2.9 万 m ³ (5 箇所)	約 1.1 万 m ³ (2 箇所)
	ため池	約 2.8 万 m ³ (2 箇所)	-
神戸市	学校・公園	-	-
尼崎市	学校・公園	-	-
西宮市	学校・公園	-	-
伊丹市	学校・公園	-	-
宝塚市	学校・公園	-	-
三田市	学校・公園	-	-
篠山市	学校・公園	-	-
合 計	学校・公園	約 2.9 万 m ³ (5 箇所)	約 1.1 万 m ³ (2 箇所)
	ため池	約 2.8 万 m ³ (2 箇所)	-
	計	約 5.7 万 m ³ (7 箇所)	約 1.1 万 m ³ (2 箇所)

1 記載の施設以外であっても、貯留量を定量的に見込むことの出来る施設にあっては、その整備が具体化した段階で追加することができる。

2 着手とは、貯留施設の整備を行うため地元調整に入った時点とする。

3 計画の見直し

本実施計画は、必要に応じて見直しを行うものとする。

【参考：流域対策の報告様式】

「武庫川流域総合治水推進計画 第5章 計画の見直し等に関する事項」に記載のとおり、県及び市は、以下の様式に計画の進捗状況を整理して協議会において報告する。

様式 1 - 1

流域対策の実施状況表（総括）

市域	目標貯留量 ¹	事業主体	H 年度末の状況 貯留量（箇所数）	
			着手 ²	左記の内完成
篠山市域	約 5 万 m ³	兵庫県		
		篠山市		
		小計		
三田市域	約 32 万 m ³	兵庫県		
		三田市		
		小計		
神戸市域	約 6 万 m ³	兵庫県		
		神戸市		
		小計		
宝塚市域	約 13 万 m ³	兵庫県		
		宝塚市		
		小計		
伊丹市域	約 4 万 m ³	兵庫県		
		伊丹市		
		小計		
西宮市域	約 2 万 m ³	兵庫県		
		西宮市		
		小計		
尼崎市域	約 2 万 m ³	兵庫県		
		尼崎市		
		小計		
合計	約 64 万 m ³			

1：武庫川流域総合治水推進計画(H22.11.22)における目標貯留量

2：着手とは、貯留施設の整備を行うため地元調整に入った時点とする。

流域対策の実施状況表（個別箇所総括）

流域対策実施計画 (H23～H27)における 貯留量 (箇所数)	H 年度末の状況		
	実施施設名称	H 年度末の状況	H 年度末の 完成貯留量
m ³ (9箇所)	高等学校		

事業主体：_____

記載例

流域対策の実施状況表（個別箇所の状況）

市域	種別	実施施設名称	貯留量	事業年度	備考
西宮市域	学校・公園	甲山森林公園	500m ³	H21～H22年度	

調査・設計を進めている施設は、想定貯留流量を記載

平成 年度末の状況

- ・公園内のため池を貯留施設として整備。
- ・平成 23 年 3 月に貯留施設の整備が完成。

貯留施設の図面・状況写真

【位置図】

【概略平面図】

【実施状況写真・全景】

【実施状況写真・近景】